

## 6月11日（火）授業研究会

### 1 はじめに

西部教育事務所鶴野綾香指導主事をお迎えし、3年3組で国語科の授業研究会を行いました。言語活動を通じた授業づくりや発問の工夫などについて研修を深めることができました。谷口先生にとっては、大勢の先生方に授業を参観していただくのが初めてだったそうですが、私たちも多くのことを学ばせていただきました。

### 2 研究授業

#### (1) 国語科

单元名「かくれ名人ブック」を作ろう

#### (2) 授業者

第3学年3組 担任 谷口 緑 教諭

#### (3) 授業について

##### 【単元の目標】

- 昆虫の身の隠し方について関心をもち、知りたい昆虫についての本を進んで読み、調べようとしている。 **【国語への関心・意欲・態度】**
- 目的に応じて、接続語や指示語、文末表現に注目し、段落相互の関係を考えながら読んでいる。文章の中心となる語や文を捉えながら、言葉を補ったり書き換えたりして読み取ったことを要約している。 **【読む能力】**
- 指示語や接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解し、「かくれ名人ブック」を作る際に使っている。 **【言語についての知識・理解・技能】**

##### 【本時の目標】

写真と文章を関連付け、「トノサマバッタ」と「ゴマダラチョウの幼虫」を比較しながら、それぞれの身の隠し方を読み取り、要約することができる。



### 3 研究協議会

柱1 「課題発見・解決学習」の单元構成と本時の授業との関わりはどうだったか。

柱2 児童が深い学びをするための教師の発問の工夫はどうだったか。

#### (1) グループ協議会

上記の協議の柱をもとに、グループ協議で出された主な意見を紹介します。

- 2年生に紹介するというゴールを設定し、相手意識をもたせていたのがよかった。
- 繰り返し発問がよかった。

- 前時の活動がわかりやすい掲示だった。
- ペーパーサートは良いアイデア。活用法がもっと工夫できそう。
- 叙述に根拠を求めるためには、線を引かせる、何度も読ませるなど、手立てがあるとよい。
- 本時のめあては「身の隠し方を見付ける。」ではないだろうか。
- 「〇〇のじゅつ」を書かせる活動は2回あったが、最後に1回でよかったのではないか。
- グループ発表等を取り入れ、子どもに任せる場面を増やすと良い。



## (2) 指導講話

たくさんご指導いただいた中から、主なものを抜粋しております。

### ○ 言語活動を吟味する。

2年生に渡すブック作りを目指しているので、2年生が理解できる物でなければならない。子どもが常にそうした意識に立ち返る授業にしなければならないので、3年生のこの時期の子どもにとって、どの言語活動が適切かを吟味する必要がある。



### ○ 言語活動を中心に授業づくりを行う。

新学習指導要領の言語活動例ア、イ、ウ (p. 113) の観点から授業づくりを考えてほしい。この視点で授業づくりを行えば、子どもが学習内容を理解しやすく、主体性を伸ばし、評価もしやすくなる。

さらに、並行読書を行うのは大変良い。

### ○ 指導事項を焦点化する。

今回は「C読むこと」の中でも指導事項のアとウを挙げていたが、要約の学習に取りかかったばかりの3年生なので、アの指導事項だけに絞り込むと良かったのではないか。

### ○ 成果物を作ってみる。

今回の「かくれ名人ブック」などのように、成果物を作成する場合、教師が事前に作ってみると、子どものつまずきを予想し手立てを考えることができる。

### ○ 学習計画表の作成。

学習計画があることによって、子ども自身が、今自分はどこを学んでいるか、何のために学んでいるのか立ち位置を確認することができる。

## ポイント

指導事項を見極め、どのような言語活動を仕組むかが大切である。

## 4 最後に

「言語活動」という切り口で授業をデザインすると授業が大きく変わることを学ばせていただきました。ご指導いただいた鶴野綾香指導主事に大変感謝しております。鶴野指導主事が、「成果物は必ず保存し継承し、来年に生かしましょう。」とおっしゃっていました。道徳科や総合的な学習、生活科についてはカリキュラムボックスがありますが、国語科についても引き継ぎファイルに保存し、次年度につなげていきましょう。授業を提供していただいた谷口先生は郡教研国語部会で11月にも授業をされる予定です。次も説明文に挑戦したいと意欲満々に話されていました。お忙しい中授業を提供していただき、ありがとうございました。